

# “挑戦しない”と言われる私たちは、本当にそうなのか？

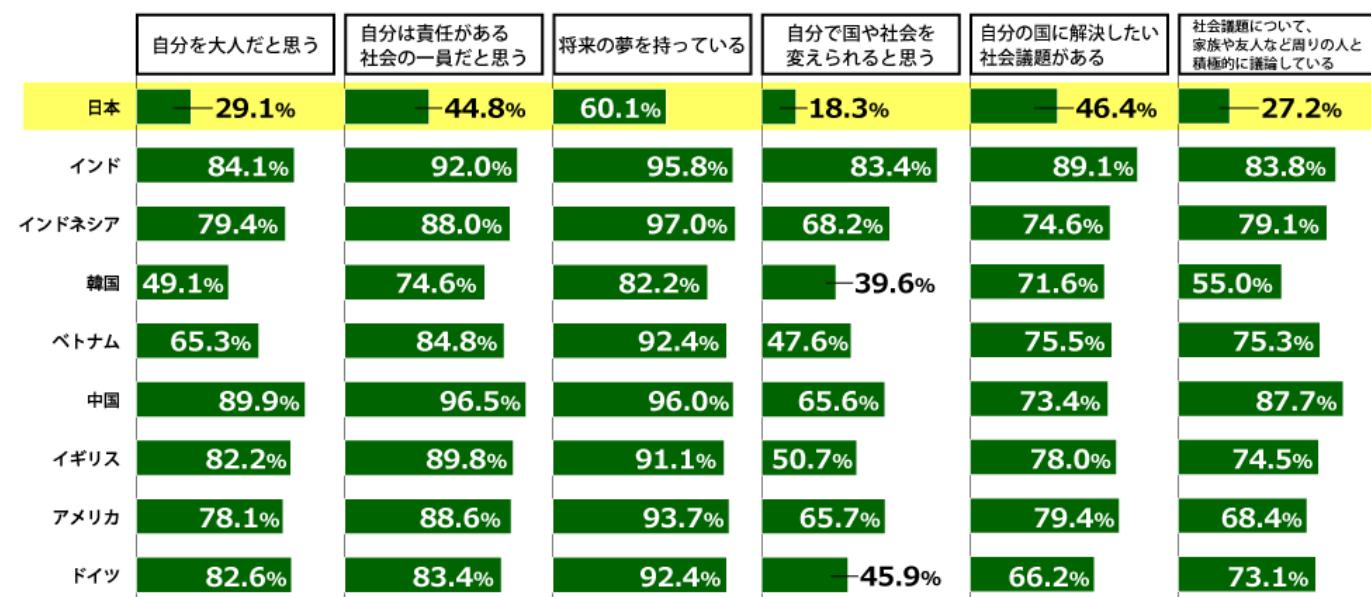
## — 18歳意識調査 × 価値観カード × 自分の変化 —

日本の高校生とサンフランシスコの留学生による  
価値観カード交流を通した探究

発表者 有澤 悠真、車谷 穂香、丹下 悠生  
得能 大輝、早木 悠真

18歳意識調査への違和感から、日本の高校生と留学生の価値観をバリューズカードで比較した。その結果、日本の高校生は挑戦心がないのではなく、誠実さや慎重さが無意識のブレーキとなっている可能性が示唆された。

### ①きっかけ：18歳意識調査への違和感



- 「日本の高校生は挑戦しない」という調査結果
- たしかに、そう見える部分もある
- しかし、私たち自身の実感とは少し違う
- 努力してきた経験や挑戦の記憶がある

### ②私たちの問いと仮説

#### 問い合わせ

- 本当に18歳意識調査は現実を表しているのか？
- サンフランシスコの留学生はどんな価値観をもっているのか？

#### 仮説

多様な人種・ベンチャーが集まる場所なら  
**挑戦志向が強い**のではないか

### 調査方法：価値観の対話

- 日本の高校生 + サンフランシスコの留学生
- バリューズカードを用いた対話
- 自分にとって大切な価値観を5枚選択
- 現地で留学生と同じ方法で実施



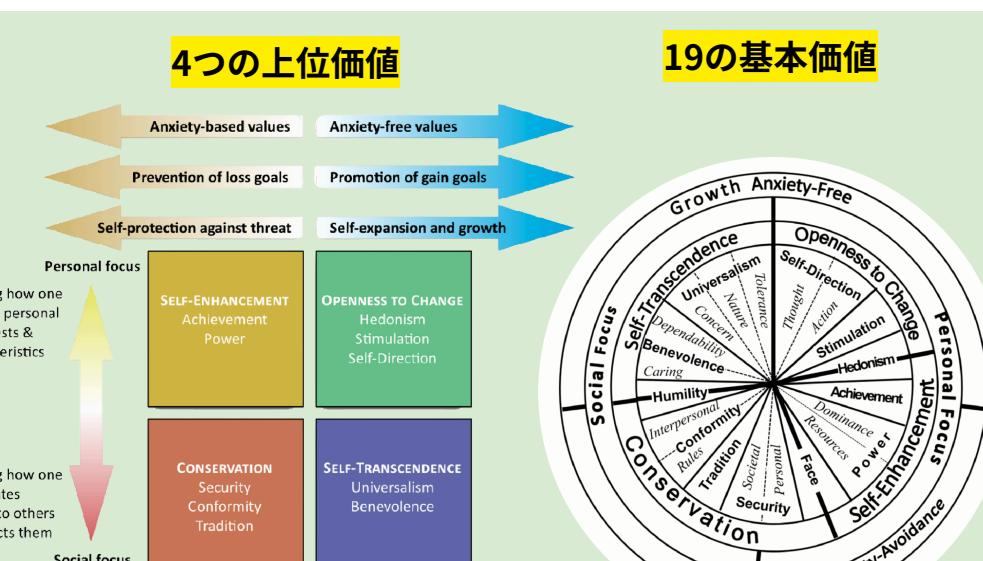
アトラエ社の価値観分析（シュワルツ理論）を参考

### ③データから見たこと（分析）国を超えた共通点と相違点

| SFの留学生 | 安定重視   | 挑戦重視   |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 自己表現   | 22.67% | 26.67% | 49.33% |
| 社会的関係  | 14.67% | 36.00% | 50.67% |
|        | 37.33% | 62.67% |        |

| 日本の高校生 | 安定重視   | 挑戦重視   |        |
|--------|--------|--------|--------|
| 自己表現   | 28.18% | 29.09% | 57.27% |
| 社会的関係  | 14.55% | 28.18% | 42.73% |
|        | 42.73% | 57.27% |        |

- 日本・海外ともに「挑戦重視」は過半→つまり私たちは「挑戦心がないわけではない！」ということが明らかに…！
- ただし、頻出カードが日本は「Effort（努力）」SF留学生は「Passion（情熱）」である。
- ここで推察されることは、挑戦の駆動源（燃料）が日本と海外で異なる傾向にある。
- 海外は社会的関係・意義が挑戦と結びつきやすかった。



※ アトラエ社よりシュワルツの価値観理論をもとに  
階層的に分析をしていただきました

### 最終的な問い合わせ

挑戦したい気持ちはあるのに、私たちはなぜ一歩を踏み出せないのだろうか。  
挑戦にブレーキをかけているものは、何なのだろうか。

### 考察：何が挑戦を阻むのか？

グループでの対話より  
失敗したらどうしよう／周りに迷惑をかけたくない  
準備が足りていない気がする／周囲の目が気になる  
誠実さ・責任感・努力を大切にするからこそ慎重になる  
その慎重さが、無意識のブレーキになっている可能性

### 学校生活と重ねてみると

授業での発言／部活動での新しい提案  
→良いアイディアがあっても踏み出せない  
出る杭は打たれるという空気  
18歳調査結果と自分たちの感覚がつながった

### まとめと次の問い合わせ

～take the road less traveled～  
—平坦な道ではなく、人が通らない道を選ぶ—

日本人が苦手としている姿勢かもしれない  
しかし、誠実さ・責任感や努力に挑戦する情熱が合わされば  
創造的な価値が生まれる

